

# お元気ですか

三菱樹脂OB会だより第十六号

## OB会総会報告

平成十九年五月二十五日(金)  
平塚CSセンター三階  
総会 出席者九十二名  
司会進行 岩田常任幹事

### 一、鳥居会長挨拶



平塚での総会は、平成十五年以来四年ぶりですが、多数の会員のご出席を賜り、ありがとうございます。昨年の総会で会長をお引き受けしましたが、会員の皆様のご支援により、無事一年を過ごすことができました。新入会員は予定の三〇名を上回る四一名を迎え、会員総数は六二三名になり、ご同慶の至りでございます。しかし、この間、九名の方が亡くなられました。ご冥福をお祈り申し上げます。さて、OB会の母体である三菱樹脂社は好業績を続けており、心強く、喜ばしい次第です。ところ、皆様、すでにご承知のとおり、来年四月一日、三菱樹脂を中核に、三菱化学ポリ

エステルフィルム、三菱化学産資、三菱化学エムケーヴィの四社が統合して、三菱ケミカルホールディングス全額出資の機能材料新社として発足することになりました。幸い、三菱樹脂の社名は残り、ほっとしています。来年四月以降、三菱樹脂OB会をどう運営するかについては、これから検討される新社の形態が確定してから、その対応を皆様と相談して決めたいと思っています。何はともあれ、わがOB会は、楽しく和気藹々と活発に活動しており、迅速な連絡網、ホームページ、OB会だより等、すばらしい会ですので、その伝統を継承していきたいと思っております。

なお、平成十二年ホームページ開設以来、七年間にわたって、その運営を支えていただいたメディアリング社が、三月末に十八年間の役割を終えて幕を閉じました。ここに同社の多大のご貢献に対し、厚くお礼申し上げます。また、原島尚参さんには、十年余の長きに亘り、OB会事務局を担当願ひ、その役割を的確に果たしていただき、深謝申し上げます。後任には、矢作憲三さんをお願いしています。なお、原島さんには、引き続き、矢作さんへの助言ならびに

OB会の運営についてご支援願いたく、後刻、幹事として新任をお計りしますので、よろしくお願ひいたします。結びに、本総会にあたり、三菱樹脂社ならびに関係会社各位より、ご祝儀を頂戴したことをご報告し、各社に厚くお礼申し上げます。



### 二、会務報告 岩田常任幹事

(1) 物故会員報告 昨年度は九名の物故者がおられ、その御霊に全員で黙禱しご冥福をお祈りした。  
(2) 傘寿お祝い贈呈報告 七名の方にお祝いを贈呈した。総会ご出席の宮部義一氏に全員拍手をもってお祝いの意を表した。  
(3) 会員現勢報告 平成十九年三月末現在会員総数は六二三名、

内新入会員四名。  
(4) 平成十八年度OB会決算報告 平成十八年度定期総会収支決算報告。OB会基金決算および予算報告。平成十九年度OB会予算説明。  
(5) 谷口会計監事から監査報告  
(6) 役員改選の件 富岡秀雄、柴田清廣、矢作憲三の三氏が幹事を退任され、代わって北村征美、磯田 智、西澤芳朗、原島尚参の四氏が幹事に就任された。なお、新任の原島さんには、長年、OB会事務局としてのご経験を活かして、会の運営面で、引き続きご支援いただきたく、幹事枠を増枠してご就任いただいた。  
(7) 前記の決算、予算、役員改選の諸議案について出席者全員異議無くご承認を得た。

### 三、三菱樹脂経営状況説明

総会終了後、小林平塚工場から、三菱樹脂社の、平成十九年三月期の経営状況について「連結経常利益一〇二億円と過去最高益をあげることができた」ということとともに、今後の経営重点方針について、詳細な説明があった。

### 懇親会(平塚工場 クラブ湘涛)

出席者百二名  
司会進行 加藤常任幹事  
開会挨拶 鳥居会長

### 神尾章社長「挨拶

昨年五月、長浜で皆様とお目にかかって以来、早いもので一年経ちましたが、この一年間、いろんなことがありました。



まず最初に、皆さんにお詫びを申し上げなければならぬことは、昨年十一月に、ガス用PE管、継ぎ手について、価格カルテル疑惑で立入り調査を受けたことです。OB諸先輩にも大変ご心配、ご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。今、初心に帰って、会社の信頼を取り戻すべく、最善の努力をしております。

さて、昨今の三菱樹脂の状況につきましては、小林平塚工場長から詳細ご説明しましたとおりです。お陰様で、この三月末を以て、中期経営計画+5.0作戦が終わったわけですが、ほぼ目標とする数字をクリアすることができました。

財務体質も非常に健全になりましたので、今は、年間百億円を超える積極投資を行っております。これから、成長戦略に基づいた積極的投資を行って参りたいと思っております。なお、昨年来、六十周年記念事業として建設を進めておりました新研究開発棟は、この二月に完成しました。長浜にお越しの節は、ぜひ立ち寄り下さい。

さて、来年四月から、三菱樹脂は新しいステージに入っております。四つの会社と、三菱化

学がやっております。O.P.S.事業を統合して、三菱樹脂というところで展開していくことになるわけですが、今、四社の社長を中心に、来年四月以降、どういう経営戦略で、経営のやり方ですべていくべきか、組織の問題も然りですが、いろいろ具体的な議論に入っております。鳥居会長も言われたように、ぜひ、明るく、希望の持てる会社にしていきたいと考えております。

**乾杯・懇談**  
井東政蔵氏のご発声で乾杯し、懇談に移った。



**中締**  
宮本二四彦氏のご発声で、三菱樹脂社ならびにOB会のさらなる発展を祈って萬歳三唱で再開となった。

**総会懇親会出席者** (百四名)  
(会社) 神尾章社長、吉田宏副

社長、平盛秀正専務、中西英二総務人事部長、小林真人平塚工場長、渡辺晴一平塚工場総務部長

(本部) 鳥居正義会長、木下英俊顧問、高橋義衛顧問、宮部義一顧問、菅澤武彦顧問、青木一男、青山新太郎、赤司祐二、安彦隆、安部彰、安藤明義、安藤忠雄、井伊國裕、石射祥光、石川治男、石橋正康、泉洋、市村義雄、井東政蔵、岩田幸三、大庭忠利、大森和男、岡本邦雄、奥村倅三、小倉武司、香川重雄、鹿島静哉、加藤欽一、加藤進、金内保、亀田実、木沢英雄、木原仁博、倉垣二郎、黒田正夫、後藤勤、小林正威、齊藤進、坂井大和、榮洋一、坂本堅一、櫻井章博、佐藤昌二、佐野弘毅、澤田耕輔、塩澤敏行、島本進、下瀬英樹、田中須賀男、谷口勝利、柘植茂、辻輝彦、豊田安鴻、永井正義、中川実信、中戸川敏雄、錦文雄、野崎紋壽、野中矩仁、花田正一郎、浜田幸三、原口尚武、原島尚参、原田浩次、平松久、藤井正敬、伏木正起、部谷宣之、堀河勲、松内俊夫、三廻部健三、宮下和久、宮武正浩、安田久雄、山上章三郎、山田守士、山根邦章、山本猛、山谷章浩、吉田宏彦、渡部一蔵、渡邊良秋  
(長浜) 磯田智、梶道信、北川久男、佐伯清忠、富岡秀雄、中嶋清、森川栄壽、山本貞生  
(大阪) 奥田公具、押切繁、宮本二四彦、山口滋  
(名古屋) 伊藤壽、合原精一  
(九州) 相馬義一、桑村倅正

### 第七回 OB会作品展

第七回OB会作品展  
神奈川県民ホール第一展示室  
平成十九年二月十二日〜十八日  
出展者は絵画・写真など三十七名、出展作品は七十四点。  
写真部門は、青山新太郎さんのアイデアで、課題作品は額の大きさ・台紙の色を揃えて纏めて展示、また、各人の作品も額・台紙も統一感あるものにして、すっきりとインパクトのある展示方法をとっていた。



絵画部門は、この会の創始者・平松久さんをはじめ常連の皆さんのほか、小宮一彦さんが長野県から久しぶりに出展され、また宮武正浩さんが新規参加されました。  
金井ヒロ子さんのパソコン画は通常の絵画と一味違った作品。また、最長老の山田守士さんの篆刻は、友人とのゴルフを読んだ漢詩を石に彫ったもので、ユ

ーモアあふれた作品。  
会員の奥様の作品も、絵画の前田幸子さん、刺繍の奥マサ子さん、写真の山崎公子さんと、この作品展に彩りを添えてくれました。

来場者は、全体で約六百名と、なかなかの盛況でした。  
出展者三十名 相川武夫、奥宗治、奥マサ子、金井ヒロ子、小宮一彦、櫻井章博、下瀬英樹、坪井駿三、中村俊一、野中矩仁、日高晃一、平松久、前田幸子、宮武正浩、山田守士、青山新太郎、安藤忠雄、久保秀雄、関守二、鶴岡英雄、永松啓至、西林公助、橋本志真彦、塙宏、廣江昭道、柳澤知男、山崎勲、山崎公子、山本猛、吉井道郎、  
(以下、文責はすべて宮下和久)

### 歩こう会

本部第五十四回歩こう会  
東京を歩く 千住界限散策

平成十九年四月二十五日(水)  
参加者二十名 石橋正康、市村義雄、岩田幸三、加藤進、木原仁博、小林正威、佐藤勇、塩澤敏行、下瀬英樹、高橋義衛、柘植茂、豊田安鴻、鳥居正義、根本章、野中矩仁、原田浩次、平松久、松内俊夫、山本猛、山谷章浩

午後一時、参加者二十名、JR常磐線南千住駅改札口に集合。まず、駅近くの小塚原仕置場(刑場)跡に立寄る。明治初期までに約二十万人が処刑された

と言われている。  
続いて「延命寺」へ。境内の首切地蔵(坐像)と南無妙法蓮華経のお題目が深く刻まれた題目塔が仕置場の名残を今に伝えている。次いで、「小塚原回向院」へ。入り口に、蘭方医杉田玄白等が腑分けを見学した「観臓記念碑」があり、奥に吉田松陰等志士達の墓碑が並ぶ。



さらに、箕の輪の天王さまと呼ばれて親しまれた「素盞雄神社」へ。境内に、著名な「奥の細道矢立初の碑」があつて俳人が多く訪れる。この北に見える「千住大橋」は文祿三年(一五九四年)に架けられた隅田川で是最古の橋。現在のアーチ付の橋は昭和二年に架け替えられたもの。橋を渡った北詰東にも芭蕉旅立ちの句碑がある。そこは橋戸の渡し。これより、広い道(現日光街道)を渡り、狭い旧街道に入る。  
旧街道のとは口は、旧「やつ

ちやばー(青物市場)跡。現在には、各戸毎に、昔の屋号と商標を印した表札が掲げてあり、「やっつちやばー」の雰囲気が漂う。

さらには北上、千住上宿へ。ここには、本陣、平旅籠に並んで、飯盛り女(娼妓)を抱えた食売旅籠が三十余軒も軒を列ねていたと言う。將軍が日光参詣の折に立寄った寺や飯盛り女の供養塔などを巡り、千住宿の格式と歎樂を偲ぶ。

午後四時半、予定した全行程を無事終了。日本陣辺りの居酒屋で打上げ。二時間ほど歓談、塩澤さんの中締めで、お開き。

大阪支部第二十五回樹樂会  
二上山ハイク

平成十九年五月二日(水)  
参加者十五名 岡本益弘、奥田公具、押切繁、鈴木睦子、内藤次生、中谷昌弘、中村利之、平井穰、福井久、松本弘、松本一子、南博子、山口滋、山口陸雄、吉田康子

集合場所「二上神社口駅」に十五名が集合。  
まず、「二上山」「雄岳」(五一七m)を目指して出発、約一時間で頂上到着。山頂には古代悲劇の死を遂げた大津皇子(天武天皇の第三皇子)の御陵がある。暫時休憩後、十分で「雌岳」(四七四m)に到着後、昼食。

山頂からは、大和平野に「畝傍山」、「耳成山」、「天香具山」の大和三山が浮かんで見える。次の目的は、東へ降りて「當麻寺」。ここは中将姫伝説で有名であり、姫が蓮糸で織ったと伝



えられる「綴織當麻蔓茶羅図」は国宝。また、「東塔」、「西塔」の二つの三重塔があり、奈良末期のままの東塔と西塔が共に現存するのは国内唯一という。

當麻寺は「牡丹」で有名。京都知恩院の「奥院」の浄土庭園に入園し、やや盛りを過ぎていたが、多彩な牡丹の花と、はしりの石楠花を觀賞した。  
全行程終了後は、恒例により、阿倍野の中華料理屋で、盛大に反省会を実施し、散会した。

ゴルフ同好会

本部地区第二十七回ゴルフ会

平成十九年五月八日(火) 湘南カントリークラブ  
参加者十二名 高橋義衛、坂本堅一、菅澤武彦、市村義雄、久保秀雄、篠島秀明、亀田実、牧原稔、西野盛雄、高橋健二、小宮康正、長嶺英則

最近出場者が減少傾向ですが、今回も何とか十二名の参加。十二のハンディキャップを取得した(八十歳以上と言うこと)高橋さん、坂本さんも元気に参加され、天候にも恵まれ、最後まで盛り上がった大会でした。成績は、前回二位の小宮さんが、三つのニヤピンを独占し、(グロス九十一、ハンディ十六ネット七十五)、みごと初優勝。十二ハンディキャップ組の坂本さん、高橋さんが四位、五位に食い込む大健闘でした。



長浜支部第二十八回ゴルフ会

平成十九年五月八日(火) 彦根カントリークラブ  
参加者二十六名 笹原榮之助、小林一好、柴田弥蔵、竹田善祐、加藤勲、藤田稔、山田知男、松宮正之、野田和久、森川栄壽、西沢芳朗、村上左門、雨森作仁、岩根信次、中村民夫、尾本光弘、磯田智、柴田清廣、辻彦太郎、



西田英一郎、後藤健二、服部重受、鈴木健治、品川泰之、井沼稔、村上孝司

五月晴れの絶好のコンディションのもと二十六名の参加。和氣藹々のうち、プレイと会話を楽しみながらも、自らのミスショットを嘆きながら終了。ダブルペリアのハンディキャップ戦の結果、HDCPにも恵まれた村上左門氏が優勝。準優勝は本会の最長老で名誉会長を務める小林一好氏、三位には加藤勲氏が続き、十位までの大部分を七十歳以上のベテラン勢が占める結果となり、ベテランの健在を示す大会となった。  
終了後、社員会館で総会と懇親会を開催。話もはずみ、数名の居残り組を残し、十八時終了。

大阪支部第十一回ゴルフ会

平成十九年四月十三日(金) 神戸ロイヤルパインズゴルフ倶楽部  
参加者十一名 雨森作仁、宇塚正、岡本益弘、平井穰、古川千

佳子(現役)、松野敏、松本弘、南野彰弘、山口滋、山本功、吉田康子  
好天ながらも強風吹き荒れる中、和氣藹々の楽しいプレイを繰り広げました。  
前回優勝の吉田康子さんは、日頃のレッスンの効果で自己ベストグロス、一方、今秋結婚が決まった現役古川千佳子さんは大乱れ、また、七十歳超の某氏は、白杭からティーショットなるも久々の高スコア、と悲喜こもごもの内に終了しました。  
結果は、次のとおりでした。  
優勝 松本弘  
準優勝 山口滋  
第三位 雨森作仁



九州支部第二回ゴルフ会

平成十八年十二月十八日(月) 玄海ゴルフ場  
参加者八名 相馬義一、桑村卓正、入江勝彦、原田幸裕、甲斐国紘、安部敏朗、柴田弘視、柴田壽一

前回と同じ玄海ゴルフ場で、第二回ゴルフ会を開催。前夜のアルコールが残っていたようですが、寒さをものともせず、奮闘いただきました。優勝は、実力者の安部敏朗さんで、相馬支部長は、今回もメーカードでした。次回は頑張ることです。



テニス同好会

本部地区第十三回テニス会

平成十九年五月十五日(火) **ダイヤモンドテニスクラブ**  
 参加者十七名 石橋正康、市村義雄、川上治夫、木村芳朗、駒橋武男、笹本宏昭、篠島秀明、菅原彦一、高橋義衛、塚田正昭、土川猛弘、鳥居正義、牧原稔、三浦修、宮下和久、安田久雄、山本疆  
 当日は、朝からテニス日和の好天だったが、十一時半頃から雨が降り始め、開催時刻の十二

時には土砂降りに近い雨。われわれが借りているクレイコートは使用不可になった。急ぎよ、オムニコート二面を確保、十二時半ごろに小雨になったのを期に、四組のプレイが開始されたが、その直後、再度本降りとなり、プレイ不可。



一時半すぎには、幹事の判断で中止を決め、着替えて懇親会に移ることにした。

ところが、十四時前に、突然、雨が上がり薄日も射してきた。塚田幹事がメンバーの顔で、再びオムニコートと離れ離れではあるが、二面、十五時まで借りられることになり、乱打練習もそこそこに、プレイ開始。待たされたストレスを発散すべく、コートを駆け回り汗をかく。十五時には、何も無かったように集合写真に納まる。その後、早めにクラブハウス食堂で懇親会に移り、明るいうちに散会となる。

フォトサークル2000

第十七回撮影会

平成十九年三月二十七日(火)、参加者八名 青山新太郎、柳澤知男、鶴岡英雄、関守二、橋本志真彦、西林公助、永松啓至、山崎勲

桜を被写体に小石川植物園、六義園にて行った。九時半に小石川植物園正門前に集合。園内に入り撮影開始。天候は曇り。桜の開花が当初の予想よりやや遅れたこともあり、その後の開花状況も期待したほどではない。染井吉野は二三分咲きである。それでも入り口付近の山桜や園内の天城吉野は満開で、これらを中心に春の花等を撮る。十一時過ぎまで撮影後、正門前にて集合写真を撮る。



この後は、しだれ桜で有名な六義園に向かう。昼食後、撮影再開。目当てのしだれ桜は満開で、

結構大勢の花見客やカメラマンが訪れている。しだれ桜の他に、こぶしの巨木が美しい白い花をみごとに咲かせている。各自、園内を散策しながら撮影ポイントを探し十四時頃まで撮影し、撮影会は終了。その後、駒込駅近くの焼肉店で懇親会を開催。十五時三十分過ぎにお開き。

OB会事務局から

- ▽会員数 (五月三十一日現在) 全会員数 六三〇名 本部三五六名 長浜一八三名 大阪三八名 名古屋二三名 九州三〇名
- ▽訃報 青木貞巳殿 平成十九年一月十一日逝去 齊藤多計夫殿 平成十九年一月二十一日逝去 木下巧殿 平成十九年三月四日逝去 山田博殿 平成十九年三月三十一日逝去 南光弘殿 平成十九年四月五日逝去
- 慎んでお悔やみ申し上げます。▽傘寿祝贈呈 石井弘殿、宮部義一殿、山本正治殿、井上 漢殿、長谷川義男殿、山本博之殿、田中幸雄殿
- ▽役員改選 富岡秀雄氏 幹事退任 柴田清廣氏 幹事退任 矢作憲三氏 幹事退任 北村柁美氏 幹事就任 磯田智氏 幹事就任 西澤芳朗氏 幹事就任 原島尚参氏 幹事就任

発行者：三菱樹脂OB会事務局 〒110-0016 東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7-2F  
 (株)ダイヤサービス東京支店内 担当 矢作 憲三 TEL 03-3834-9174 FAX 03-3834-8837

編集委員 加藤 進 TEL/FAX:03-3709-3610 e-mail ssmkato@u01.gate01.com  
 磯田 智 TEL/FAX:0749-65-2281 e-mail satoshi.isoda@nifty.com  
 原田 浩次 TEL/FAX 045-621-3355 e-mail kh8893@mb.infoweb.ne.jp  
 宮下和久 TEL:03-3290-0619 FAX:03-3290-0618 e-mail kazuhisa14@jcom.home.ne.jp  
 柘植 茂 TEL/FAX:03-5548-3455 e-mail beetsuge@snow.ocn.ne.jp

OB会ホームページのアドレス <http://www.mpi-obkai.org/>